

Ninja Team Green Cup in SUZUKA

2024/7/19

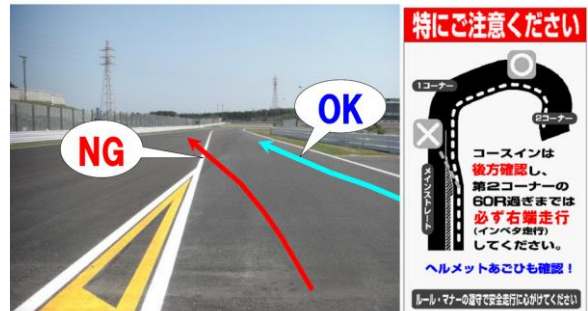
競技監督

ライダーズブリーフィング資料

1. コースイン・ピットイン時の注意



2) コースイン方法について



4) ピットレーンの速度制限



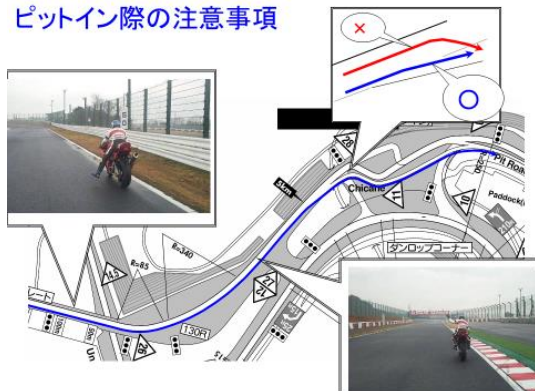
5) ピットレーンの制限速度終了ライン



6) スタート練習場所 ピットレーン出口のみ フリープラクティス/公式予選/サイティングラップ



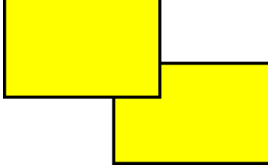
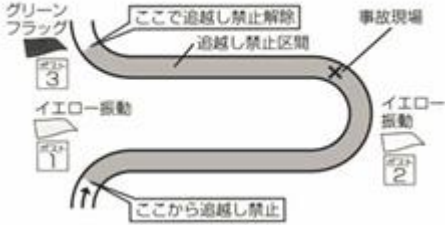
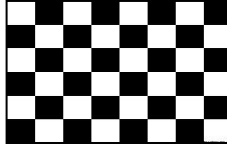
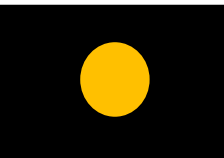
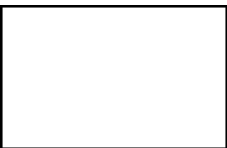
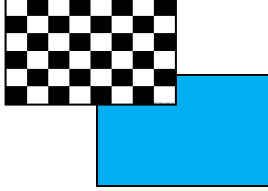
7) ピットイン際の注意事項



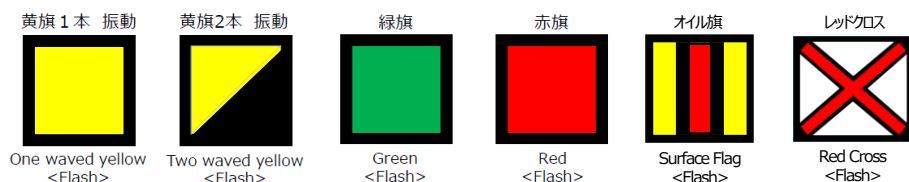
7) 予選・決勝レースを通じて東ショートカット使用してのピットインは認めない。

2. フラッグ等について

ライダーは、掲示されるフラッグ・ライトパネルを確認する義務がある。※違反した場合は罰則を科す。
ストレート上でもフラッグやボードの見落としがないように注意すること。

	【黄旗 1 本】 振動表示 表示ポスト前方でトラブルが発生。 減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。		【黄旗 2 本】 振動表示 表示ポスト前方コース上にトラブルが発生。減速し、緑旗提示ポストまで追い越し禁止。
■黄旗の基本的な出され方 		コースの前方に転倒などの危険な状況が起きていることを知らせています。ポストでは黄旗を振動させて知らせますので、そのポストから追い越し禁止となります。最大限の注意を払いながら危険な状況が起きている地点を通過します。さらに、追い越し禁止は続き、緑旗が提示されるポストを過ぎたら追い越し禁止が解除されます。黄旗の振動に代わりに、イエローライトの点滅によって危険を知らせる場合もあります。	
	【赤旗】 走行中断。減速し、ピットに戻らなければならない。		【赤ストライプ付き黄旗】 コース上が滑りやすい状態の時、提示される。(オイル漏れ、落下物なども含む。)
	【チェッカー】 走行終了。速度を落とし、その周でピットインをすること。 先頭でチェッカーを受けた車両が通過するタイミングで<u>コントロールラインのフラッグ台(00P)</u>でチェッカー提示。 コントロールラインフラッグ台でチェッカー提示後 ・インフォメーションパネルチェッカー提示 ・各ポスト 黄旗静止提示 但し、トップライダー直前に未チェッカー車両が走行している場合は、提示を遅らす場合がある	 	【オレンジボール+ゼッケンボード】 <u>ピットまで戻らず速やかにコースアウトし、最寄りの安全な場所に車両を止めること。</u> ※大量のオイル漏れ等、危険を及ぼす恐れのある競技車両が発見された場合、即当該ライダーに警告するため、旗のみ表示を行う場合がある。
	【白旗】 救急車等の介入車両があり、この介入車両を追い越すまで他のライダーを追い越す事は禁止される。		【黒旗+ゼッケンボード】 当該車両は直ちにピットに戻り、オフィシャルの指示を受けること。
	【青旗】 後方よりペースの速い車両が接近し、追い越される場合に振動表示にて提示される。		【チェッカー+青旗】 ファイナルラップにフィニッシュラインの手前でトップライダーの直前に他のライダーが走行している場合、トップのライダーはチェッカーを意味するが、直前を走るライダーにはもう1周することを示す

・ライトパネルの表示例



3. 公式予選について

公式予選は計時予選とし、走行時間は 20 分間とする。

4. 決勝レースについて

1) 決勝レースの周回数は 8 周とする。

但し、WET 宣言が出された場合、決勝レースは 2 周減算される。

2) スタート前チェック

・場所: 車検場前(ピットレーン側)

・必ず受けなければならない、**時間内に完了していない場合、決勝レースへの出走は認めない。**

3)

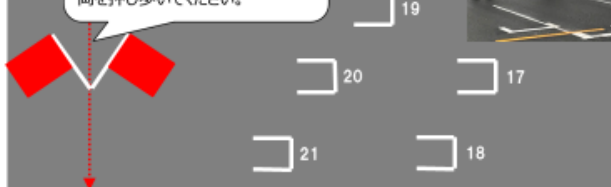
サイティングラップからグリッド到着時について

サイティングラップ終了後にグリッドに戻ったライダーは、オフィシャルが赤旗 2 本を静止提示している場所で一旦停止し、ライダーは、エンジンを切らなければならない。

その後ライダーまたはチーム員が押し歩くような速さで所定のグリッド位置につく。その際にライダーは降車しても乗車したまま移動しても良い。

※21番グリッドが最後尾グリッドだった場合

赤旗2本静止表示をしている場所でエンジンを切って、チーム員またはライダーがグリッドまで競技車両を押し歩いてください。



4) グリッドおよびピットレーン上においてタイヤウオーマーの使用は禁止される。

5) エアバッグは決勝グリッドにてオフィシャルが確認を行うため、正常に作動するよう確実に装着しチェックを受けること。

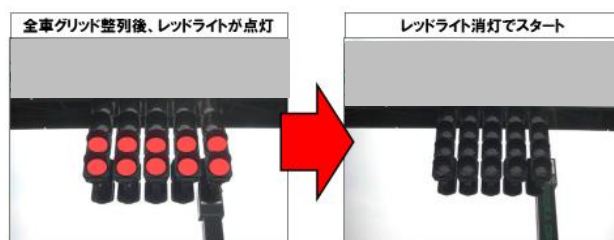
6) ウォームアップラップ開始は、スタートラインのフラッグ台(0.5P)での、緑旗振動表示を合図とする。

1 列目より順にスタートすること。その際、接触・追突等がないように十分に気をつけること。

ウォームアップラップ開始の合図



ウォームアップラップ後のレーススタート



7) ピットインロード入口までにオフィシャルカーの前に入れなかったライダーは、ピットインを行い、ピットスタートすること。

8) グリッド到着後はヘルメット・グローブ等の装備品をはずすことはできない。

9) 誤ったグリッドにつき、自力で正規のグリッドに戻れない時にはスタートディレイドとする場合がある。

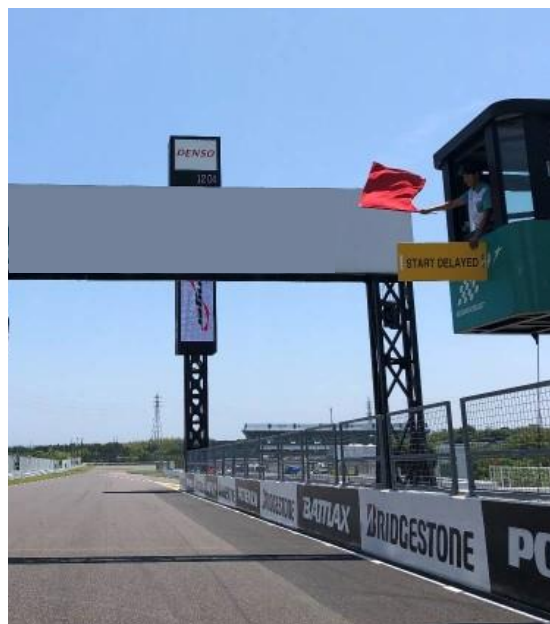
Ninja Team Green Cup

 SUZUKA CIRCUIT

《決勝レーススタートのディレイド》

スタートラインのフラッグ台で
「START DELAYED」のボードと
赤旗が提示される。

- 1) エンジンは停止させない。
- 2) スタート手順は「**ウォームアップラップ開始30秒前**」ボードの提示から再開され、追加のウォームアップラップを周行い、レースは1周減算となる。
- 3) スタートディレイドの原因となったライダーとマシンは**ピット作業エリアに戻される。**
追加のウォームアップラップへの走行は可能だが、**ピットインを行いピットスタートすること。**
- 4) 速やかなスタート手順の再開が難しいと判断された場合は、「**エンジンストップボード**」が提示され、**全車、ピット前作業エリアに戻される。**
この場合、再開手順は**クイックリスタート**で行われる。



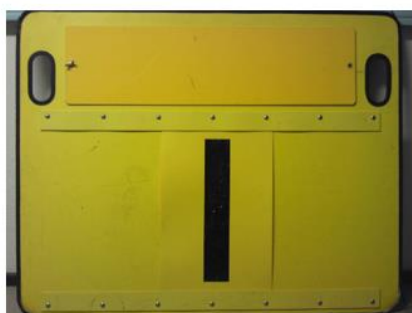
10) スタート違反

Ninja Team Green Cup

 SUZUKA CIRCUIT

スタート違反

- ・スタート違反 : **タイム加算ペナルティ**とする
- ・ペナルティ通知 : 当該ライダー・チームに「下記ボード」にてゼッケンを通達する。
ボード提示場所 : ①コントロールラインのフラッグ台 (00番ポスト)
②14.5番ポスト(バックストレート)



コントロールラインのフラッグ台



14.5番ポスト

11) レッドライト消灯後のエンジンストール時について

- ① レッドライトが消灯された後で、エンジンがストールした場合、**オフィシャルの指示があった時点でエンジン始動を試みる行為を中止し**、指示に従って速やかにマシンをピット作業エリアに押して行かなければならない。【MFJ国内競技規則P70 付則4 17-4-10-3】
- ② セルススターターが装着されている車両でも、エンジン始動不可の場合は同様の扱いとする。
- ③ ピット作業エリアでは当該ライダーのメカニックがエンジンを始動させるために援助することが許可され、ピットスタートとなる。

12) 赤旗中断されたレースの再スタートについて

競技結果が 2/3 未満の場合の再スタートについては、下記手順(クイックリスタート)にて進行される。

①全ライダーがピットイン後、競技監督よりサイティングラップスタート時刻が発表される。

②サイティングラップ開始

ピットレーン出口はサイティングラップ開始から約 30 秒間解放される。

サイティングラップに参加できないライダーは、ピットレーンからウォームアップラップを開始し、正規のグリッドにつくことができる。但し、車両を押してグリッドに移動することは認められない。また、ライダー1名につき1名のピットクルー(工具を持たず)がグリッド位置を教えるために立ち入りすることは許可される。

③ウォームアップラップ 30 秒前ボードが提示される。

この時点でグリッドへ着いていないライダーはピットレーンよりウォームアップラップを開始する。

④以降通常のスタート手順

5. 決勝レース終了後

1)上位ライダーは車両保管を行う。

2)車両保管場所の車検場までオフィシャルが誘導する。

3)暫定表彰式はボディウムにて行う。

6. 走行にあたっての注意事項

1)スロー走行を余儀なくされた場合、レコードラインを避け、後方に注意し、極力右側を走行すること。

2)重大なマシントラブル発生時、速やかにコース外グリーン奥の安全な場所へマシンを止めること。

3)転倒したらすぐに安全な場所へ退避すること。負傷で退避が困難な場合、大きくアピールすること。

4)可能な限り、オフィシャルの車両撤去に協力すること。

5)転倒、オーバーラン後のコース復帰時は、必ず後方確認を行うこと。

6)エンジントラブルや転倒車が出したオイルにより、後続車を巻き込んだ重大事故が発生しているため、オイル旗提示時は路面状況を確認すること。

7)他の車両を追い越す際は、接触のないようにすること。基本的にレコードラインを走行する者に優先権があり、抜く側は追い越しのリスクを認識しておくこと。

①追い越した後、レコードラインに戻る際は、抜いた車両のスペースを意識しておくこと。

②走行ラインを譲る際は、追突事故の原因となる為、急なライン変更や、急減速をしないこと。

8)エアバッグ装着義務者は走行中の転倒等でエアバッグが展開した場合、交換もしくはボンベの充填を行わない限り、その後の走行は認めない。

7. その他・注意事項

1)天候の急変等で、走行スケジュールを変更する場合があります、場内放送等に気をつけること。

また予備のガソリンや工具等は、予めピット前に準備しておくこと。

2)走行時には、必ず車検に合格・登録したヘルメットを使用すること。※複数個登録することもできる。

3)車両整備は、オイル漏れやカウルの脱落など車両トラブルがないように徹底して行うこと。

※オイルをコース上に撒いた当該ライダーおよびエントラントに対しては罰則を科す。

4)ヘルメットやリムーバーのあご紐、レーシングスーツ、ブーツのファスナー等は完全に閉めること。

5)メディカルチェックを義務付けられたライダーは、必ず指定された時間内にチェックを受けること。

以上